

女子リレー新プロジェクト始動

東京 2020 オリンピック出場への道を切り開く

1. 趣旨

陸上競技に関わる者のみならず国民に夢や希望を与えるために、本連盟強化委員会は東京 2020 オリンピック競技大会の目標値を、メダル・入賞数と同時にできる限り多くの選手をその舞台に立たせることに設定した。特に、現代社会および IOC 理念の情勢を鑑みると、女子選手の活躍が切望される一方で、現状ではその見込みが極めて厳しい状況にある。そこで、女子強化の突破口を開くにあたり、日本陸上界および国民にとって象徴的・魅力的な種目であること、目標到達の可能性についてのエビデンスを有していること、さらには達成のインパクトおよびその後の効力が大きいことを期待できる種目として、女子リレー種目に命運をかける選択をした。

本プロジェクトは、女子リレー種目の東京 2020 オリンピック競技大会出場権獲得を最大目標とする特別強化を推進するものである。

2. プロジェクトメンバー

・プロジェクトリーダー

山崎 一彦（強化委員会 T&F ディレクター）

・アドバイザー（リレー戦略）

荻部 俊二（強化委員会強化・情報戦略部（リレー戦略担当））

・ヘッドコーチ（両リレー統括）

瀧谷 賢司（強化委員会女子リレーオリンピック強化コーチ）

・強化スタッフ

<4×100m リレー>

信岡 沙希重（強化委員会強化育成部委員）

太田 涼（強化委員会女子リレー強化スタッフ）

<4×400m リレー>

吉田 真希子（強化委員会強化育成部委員）

前村 公彦（強化委員会女子ハードルオリンピック強化コーチ：ハードル連携）

・コーディネーター

太田 涼（強化委員会女子リレー強化スタッフ）

遠藤 俊典（強化委員会 T&F コーディネーター）

3. 本プロジェクトの目標

- (1) 女子 4×100m リレーおよび 4×400m リレーの東京 2020 オリンピック競技大会出場権獲得
- (2) 横浜 2019 世界リレーにおいて、ドーハ 2019 世界選手権出場権獲得および各リレー種目での日本記録更新
- (3) リレー強化と個人強化の相互補完的関係を駆使した女子競技者の強化育成プログラムの構築

4. 選出方法

- (1) 公募型選抜システムとワイルドカード選抜を併用した選手選考を行う。

1) 公募型選抜システムについて

「本プロジェクトの趣旨を理解し、リレーの日本代表として東京 2020 オリンピックを目指すことを 2020 までの最大目標とする女子競技者」を第 1 公募資格とした上で、別に示される方法によって、リレーでの競技力を総合的に判断するためのセレクションを行い、代表候補選手を選抜する。

2) ワイルドカード選抜について

2019 年 3 月から 2019 世界リレーエントリー期日までに、本プロジェクトが設定した記録水準に到達した者を代表候補選手として選抜する。

5. 本プロジェクトにより期待される成果・効果

- 1) 重要国際大会にむけて十分な準備期間を設けたリレー強化、チームビルディング
- 2) リレー候補者選抜方法の客観化・明確化・透明化
- 3) リレーにおける競技力の適性診断
- 4) 女子リレーの強化に対する選手・指導者・医科学サポートの一体化
- 5) 連続的・継続的に高い競技力を示す女子短距離競技者および国際的な視野を有する競技者の輩出

6. 今後のスケジュール

- | | |
|-----------|-------------------------------------|
| 11 月 30 日 | プロジェクト趣旨・セレクション概要説明会の案内リリース |
| 12 月 15 日 | プロジェクト趣旨・セレクション概要説明会（競技者・専任コーチ等） |
| 1 月 13 日 | 第 1 回セレクション |
| 1 月 26 日 | 第 2 回セレクション |
| 1 月～3 月 | リレー強化合宿・海外遠征（随時開催：詳細は 12 月 15 日に公開） |